

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	新型コロナウイルス対応緊急支援事業
事業名 副題	子ども・社会的弱者向け包括支援プログラム
対象地域	全国
団体名	READYFOR株式会社
代表者名	代表取締役CEO 山田 はるか 代表取締役COO 樋浦 直樹
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動；①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援；②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援、2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動；④働くことが困難な人への支援；⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
事業の概要	今回の助成事業では、以下のような事業への助成を実施する。 1.新型コロナウイルス感染症の影響によって発生した子ども・若者とその家族が抱える課題に対する緊急支援活動 2.新型コロナウイルス感染症の影響によって発生した生活困窮者・障がい者などの社会的弱者が抱える課題に対する緊急支援活動 3.新型コロナウイルス感染症への感染リスクが高い生活困窮者・障がい者・患者・高齢者・外国人などへの感染対応・防止活動
事業期間	1年
助成額 (円)	249,996,111

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングを含めた実績と実行力、また、本支援終了後の自走に向けた資金調達のノウハウ習得をメニューに入れている点も評価できます。 ・資金分配事業の実績、手厚い職員体制から、資金分配団体に推薦できると考えます。 ・助成事業の実施については、先のコロナ基金のように、助成財団等との連携を持って取り組むことが、当該団体の強みを最大限にいかせると感じます。 ・実行団体が存在するエリアでの、関連する団体（既存の同様なテーマでの活動団体、テーマ別中間支援組織など）との連携強化を意識的に実施し、エリアでの活動の厚みを作る方向を志向していただきたいと思います。 ・休眠預金活用助成事業とクラウドファンディングは運用面で異なる部分が多いと思われるので、資金分配団体としての伴走支援が可能な実行団体数と助成総額を検討し、助成金額の見直しなどが必要と考えます。
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年9月下旬）のものです。